

令和 6 年度川崎市自動車運送事業会計決算概況

(総括事項・経営成績)

令和 6 年度の収益的収支は、人件費や減価償却費が増加したものの、乗車人員が増加し、乗車料収入が前年度を上回ったこと等により、黒字となりました。

区分	収入	支出	収支差引
収益的収支 (税込)	101 億 753 万 4,094 円	98 億 3,376 万 2,368 円	2 億 7,377 万 1,726 円

消費税等を除いた収支差引では、2 億 1,647 万 2,510 円の純利益となり、この結果、令和 6 年度未処理欠損金は 31 億 2,020 万 1,382 円となりました。

財源収支については、5 億 2,762 万 5,273 円の資金余剰となりました。

(運輸成績)

乗車料収入 (乗合・貸切)	乗車人員 (乗合・貸切)
78 億 6,596 万 2,025 円 (税抜)	4,692 万 8,826 人

(安全、安心な輸送サービスの確保)

市バスの安全管理体制を構築・改善する「運輸安全マネジメント」を推進し、輸送の安全性向上に取り組みました。

事故防止に向け、体験型の運転手実技研修や事故回避情報の共有等を実施しました。また、運行管理体制の充実・強化のため、ドライブレコーダーに通信機能を追加し、車内外の状況を把握できるようにしました。

安全啓発の取組として、小学生に向けた交通安全・バリアフリー教室を実施するとともに、交通安全意識の啓発用パンフレットを作成し、市内小学校の新 1 年生に配布しました。

(快適で利用しやすいサービスの提供)

分かりやすい案内サービスの提供として、主要駅のりば案内や市バスの路線図を掲載した「かわさき市バスマップ」を作成し、市バス営業所や各区役所等で配布しました。また、運行情報提供サービス「市バスナビ」により、バスの運行状況をリアルタイムで提供しました。

ベビーカーでの乗車方法について、市バスホームページに写真を追加し、ベビーカーの固定方法の説明を明確化しました。

（社会的要請・市行政施策との連携等に対応した事業の推進）

脱炭素に向けた取組として、市バス初となる電気バス3両を試験導入するとともに、CO₂排出量の少ないハイブリッドバス4両を購入しました。また、営業所における施設照明（屋内）のLED化工事を実施し、営業所施設照明のLED化が完了しました。

市の行政施策との連携として、全国都市緑化かわさきフェアをPRするため、座席シートや車内上部を色鮮やかな花で装飾したラッピングバスを運行するとともに、フェア開催期間中に、コア会場へ来場される方に親しみを持ってもらうため、地域の小学生による市バスの音声アナウンスを実施しました。

（経営基盤の強化）

市バスの運行を支える職員を確保するため、大型自動車第二種免許を保有していない若年層を対象とした運転手（養成枠）の採用選考を引き続き実施しました。また、SPI3の導入や運転手の受験可能年齢拡大等の採用選考の見直しを行うとともに、新たな取組として、整備士資格を取得していない若年層を対象とした整備員（養成枠）及びバス乗務経験のない大型自動車第二種免許保有者を対象とした運転手（未経験者枠）の採用選考や、出産・育児・介護等による退職者を対象としたジョブ・リターン制度の創設を行いました。

運転中の健康起因事故を防止し、疾病の早期発見、治療につなげるため、運転手を対象とした心臓疾患・大血管疾患対策検査、脳健診及び眼科健診を実施しました。

（交通事業80周年記念事業の実施）

川崎市交通事業は、昭和19年10月14日に市電として営業を開始し、市制100周年を迎える令和6年に80周年を迎えました。この記念すべき節目に、交通事業80周年バスデーイベントや、小学生を対象にした「体験型」営業所見学会の開催、市電をデザインしたラッピングバスの運行、市バスでは初となるオリジナルカラートミカの販売等の記念事業を実施しました。

問合せ先

川崎市交通局企画管理部経理課 本山

電話 044—200—3203

令和 6 年度川崎市自動車運送事業会計決算総括表

(収益的収支)

(単位：円、%)

	収 入 (税込)	支 出 (税込)	差 引 (税込)	税 抜 処 理 後 純 損 益	前 年 度 繰 越 損 益	当 年 度 未 処 理 損 益
予算現額	9,929,263,000	10,235,966,000	△ 306,703,000	-	-	-
決 算 額	10,107,534,094	9,833,762,368	273,771,726	216,472,510	△ 3,336,673,892	△ 3,120,201,382
執 行 率	101.8	96.1	-	-	-	-

(資本的収支)

(単位：円、%)

	収 入 (税込)	支 出 (税込)	差 引 (税込)	補てん財源等				再差引
				繰 越 工 事 金 資	損益勘定 留保資金	前年度財源 充 当 額	その他	
予算現額	1,847,843,000	2,547,326,000	△ 699,483,000	-	35,168,000	-	664,315,000	0
決 算 額	629,359,000	1,322,943,125	△ 693,584,125	-	514,173,698	-	179,410,427	0
執 行 率	34.1	51.9	-	-	-	-	-	-

令和6年度 自動車運送事業会計決算(見込)のポイント

		令和6年度決算	令和5年度決算	増△減額	増△減率	備 考
1	収益的収入	101億700万円	97億8,000万円	3億2,700万円	3.3%	
	主 な 収 入					
	乗車料収入	85億2,000万円	83億2,500万円	1億9,500万円	2.3%	乗車人員の増加による増
	他会計補助金 負担金	11億400万円	11億2,000万円	△1,600万円	△1.4%	一般会計補助金の減
2	収益的支出	98億3,300万円	90億9,300万円	7億4,000万円	8.1%	
	主 な 支 出					
	人件費	45億7,900万円	43億5,200万円	2億2,700万円	5.2%	給料、退職給付費等の増
	経費	40億3,300万円	39億3,500万円	9,800万円	2.5%	委託料等の増
	減価償却費	7億8,900万円	4億5,700万円	3億3,200万円	72.6%	有形固定資産減価償却費の増
3	純損益(税抜)	2億1,600万円 (純利益)	5億5,500万円 (純利益)	△3億3,900万円	－	
4	資本的収入	6億2,900万円	15億3,500万円	△9億600万円	△59.0%	
	主 な 収 入					
	企業債	4億3,600万円	11億4,800万円	△7億1,200万円	△62.0%	乗合自動車購入費等にかかる企業債の減
5	資本的支出	13億2,200万円	23億3,100万円	△10億900万円	△43.3%	
	主 な 支 出					
	建設改良費	6億100万円	14億4,700万円	△8億4,600万円	△58.5%	乗合自動車購入費等の減
6	資金不足比率	－ (資金不足となっていない)	－ (資金不足となっていない)			財政健全化法における経営健全化基準 20%

※金額については、百万円未満を切り捨てにより端数処理